

公表		保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果									
公表日		令和8年 2月 20日									
事業所名		こぼんはうすさくら 総社東教室					保護者等数(児童数) 47名 回収数 43件(割合91%)				
		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	7		2	・確保されていると思います。 ・面談で教室に入りますが、こどもが活動しているところを見た事がないのでよくわかりません。きれいに整頓は、されています。	・活動スペースを広くとるため、不要なものを置かないようにしています。 ・ご希望の保護者の方には、様子を見ていただく機会を設けたいと考えており、実際見学された保護者の方もいらっしゃいます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1		5	・安心できる人数です。 ・適切な人数がどれくらいかわかりませんが、十分な人数がいるように思います。	・適切な基準配置以上で体制を整えています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	3		4	・分かりやすくしてあるので、子どもも適応しやすいです。 ・教室が2階にあるので少し心配でしたが、手すりが2段ついていて、身長に応じた対処がされています。	・事業所が2階にあるため、階段の昇降に気をつけています。利用児が2歳から18歳と幅広い為、手すりは高さの違う2種類を設置しております。入口もフラットにしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	1		2	・されていると思います。 ・先生が掃除してくれているのをよく見る。 ・清潔な空間で活動させてもらっている。	・こどもたちが気持ちよく使えるよう、また感染症から守るためにも掃除・換気・消毒を徹底しています。			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					・子どものその時の状況に応じた支援を受けられています。 ・様々な先生に関わってもらい、都度対応してくださっているようです。研修に行かれるという話も聞きました。	・専門性のある支援が行えるよう、研修に参加しています。子どもたちの様子について、職員同士情報共有をしています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39			4	・合っています。 ・支援プログラムが分からなかったのとお聞きしたら、教室に掲示してありました。合っていると思います。	・保護者の方から見にくい所に掲示していますよね。申し訳ありません。面談や送迎時にどうぞ見てください。「こぼんはうすさくらの本部HPからも検索できます」			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43				・面談時にきちんと話し合いをして作成されています。 ・面談で話した内容を子どもの支援に反映してくれていると思う。 ・送迎時に相談したことや連絡帳に書いたことも面談時に振り返りしてくださって、支援計画に反映してくださいました。	・面談はもちろん、連絡帳や電話等でお聞きした子どもたちの様子をしっかりと把握し、支援計画書に反映させていきたいと思っています。不安な事や困ったことできるようになったことなど、面談以外でもどうぞお知らせください。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	1			・されていると思います。 ・家族支援や移行支援は、十分にしてもらっています。ありがたかったです。				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43				・支援計画の内容が、連絡帳に記載されています。支援内容も詳細に書いてくださっています。	・面談で聞かせていただいたお話を支援計画におとし、その目標が達成となるような支援を心がけています。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40			3	・子どもも飽きずに楽しんでいます。 ・毎月、嬉しそうに作品を持ち帰っています。 ・ゲームの活動は家で用話をしてくれます。発表の活動は、先生が様子を教えてくださいました。	・子ども体が楽しめるよう、また、「みんなとやったらできた!」となるような活動を取り入れています。 ・同じ活動にならないよう、改善したり新しい活動を取り入れたりしています。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	15	8	12	・わかりません。	・交流を希望されない保護者の方や子どもさんがいらっしゃるので、機会を作っています。 ・公園に遊びに行った時は、地域の子どもたちと一緒に遊ぶこともあります。			

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	2			・説明はきちんとされました。 ・契約時に丁寧にしてもらいました。	・契約時に、わかりやすく丁寧に説明するよう心がけています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43				・支援内容や支援方法についてなど、丁寧に説明して頂きました。 ・説明してもらいました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	8		6	・行ったことはないですが、行われていると思います。 ・茶話会が毎年行われています。参加させてもらっています。	・市や県からの研修をご希望される方にお伝えしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	42	1			・細かく伝え合っています。 ・声をかけると快く話を聞いて対応して頂けるが、迎え時はなんとなくあわただしくなってしまうのはあります。 ・連絡帳や送迎時に情報共有ができていると思う。	・送迎時にお伝えしたり、連絡帳でたくさん伝えられるよう心掛けています。 ・確かに、送迎時慌ただしいですね。事前にご連絡いただければ、十分な時間を取ってお話を聞くことができます。お電話お待ちしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42			1	・たまにアドバイスをいただきます。 ・連絡帳で相談すると、ほぼ返事を下さいます。返事がない時は、後日電話をかけてきてくださいます。	・面談時、送迎時、連絡帳で行っています。 ・相談をお持ちだけでなく、こちらからもお声掛けするようにしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	1			・思います。 ・子どもだけでなく親の不安などにも寄りそって話を聞いていただけてありがたいです。 ・よく話を聞いて共感してくださるので、ホッとします。	・実際に共感することが多いです。同じように思っ下さっているのが嬉しいです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	11	1	12	・参加したことはないですが、行われています。 ・交流会に参加していないので分からない。 ・保護者交流はなかなか都合が合わず参加できていませんが、気になっています。 ・同じような年齢の子の保護者と話せて安心します。	・茶話会を開催していますが、参加人数が少ないと感じています。皆さんが参加したいと思えるような会ができるよう、内容や時間等検討していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	4			・ケース会議もこころよく受け入れていただいて、ありがたいです。	・相談事があった時、すぐ反応できるよう職員間で連携を取っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	3			・なかなか、直接は会えませんが、連絡帳に丁寧に書いてくださいます。電話をくれることもあります。	・事業所での様子や学校からの伝達事項は、連絡帳や送迎時にお伝えしています。伝えそびれがないよう、情報を得た職員は、課題担当者や送迎担当者に直接伝えるようにしています。全職員への周知は、日報で行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	10	2	14		・年間行事予定は、年度初めに配布。その他は随時、『お知らせ』を配布しています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41			2	・されていると思います。面談の時、子どもの名札が裏返しにありました。	・個人ファイルやアセスメントファイル等、鍵付きのロッカーにしまうことを徹底しています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	2		3		・契約時に、マニュアルの存在や訓練があることなどを保護者の方にお知らせしています。 ・新しい職員にも周知し、訓練に参加しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	1		4	・避難訓練を定期的に行っている。	・年2回、避難訓練を事業所全体で行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	1		2		

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39			4	・けがをした事がないので、わかりません。	・まずは、事故があつてはなりませんが、もし起こってしまった場合は、速やかに連絡・説明できるよう安全会議を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41	2			<ul style="list-style-type: none"> ・先生を信頼しているのが見ていてわかる。 ・先生を信頼して色々話している様子が感じられる。 ・先生の名前がよく出てきます。 ・「ごはんはお友達も先生も誰も私のこと悪く思っていない、ずっと行きたい」と話していたことがあります。幼い頃からそばで見守っていただいて、子どものなくてはならない居場所になっているんだなと感じています。 	・安心して話せる・過ごせる・頑張れる場所でありたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	8		1	<ul style="list-style-type: none"> ・行くまでは面倒、行ってしまうえば楽しい。 ・ごはんの日は朝からテンションが高く、嬉しそう。 ・いつも楽しく通っていると思う。 ・毎回喜んで行っています。 ・帰ってくると教わったことを私たちに教えてくれます。 	・子どもたちの笑顔や頑張り、自分自身と戦っている姿にいつも「すごい！」「がんばれ！」と、応援したくなります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43				<ul style="list-style-type: none"> ・相談にのってもらい、配慮してくださっているのが分かる。家から出る機会が増えて嬉しい。 ・振り返りがもう少しフィードバックしていただけたら嬉しい気持ちもありますが、先生方みなさん優しくて親身になって対応してくださるので親も安心していきます。 ・いつもありがとうございます。 ・大変満足しています。 ・今後ともよろしくお願いします。 	・いつもご協力いただき、感謝しております。至らない点につきましては、改善していきたいと思っています。ご意見をお聞かせください。

公表日 令和8年 2月 20日

事業所名 ごぼんはうすさくら 総社東教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・パーテーションで仕切ったり、別室で分けて活動(過ごす)したりしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・活動内容やその日の子どもの様子に合わせて無理なくついている。 ・手厚い支援が必要な児童に対しては適切な配置がされている。 ・介助が必要な利用児には、1対1でつけるよう人員配置に気を配っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・建物が2階にある為完全ではないが、送迎時など手をつなぐ、職員が必ずそばにつくなど気をつけている。 ・カギを閉めるなど声をかけ合って徹底している。 ・勉強スペースと遊びのスペースをパーテーションで分けている。	・真夏になると階段の手すりや、熱くなってしまう。一度大家さんに相談したが、今のところ変える予定はないとのこと。職員が大丈夫か確認してから触らせるようにしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・その日に必要なものを用意している(出している) ・毎日掃除機をかけ、部屋(机、椅子、ロッカー、おもちゃなど)の消毒をしている。 ・掃除チェック表を作り、掃除を行っている。	・事業所を開設して8年になる為、壁紙や床など様々なところの汚れや傷が目立つようになってきた。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・パーテーションで区切って、それぞれの空間を作ったり場合によっては別室を使ったりすることも可能。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・何か気になることがあれば伝える。聞いてもらえる。一緒に考える。という態勢ができており、改善につながっていると感じる。	・当日出勤している職員は、全員参画しているが、休みの職員への伝達が日報・朝礼のみでは、足りないこともある。個別課題ファイルへの記録を課題だけでなく子どもの様子や保護者からの要望もしっかり記録するようにしたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・温かい言葉も多く励みになっている。 ・アンケートを実施している。 ・アンケートの内容をもとに改善をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・日々の会話、朝礼、昼礼などで把握できている。 ・昼礼で業務の振り返りを行っている。 ・上司が話を聞いてくれる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・SVから意見をいただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・オンライン、YouTubeで自分のいいタイミングで講義を受けることもできてありがたい。 ・年に1回以上研修に参加している。 ・外部の研修の広報がされている。	・参加したい研修について、管理者と職員が話し合いをし、誰がどの研修に行くかを決めている。興味がある研修を自分で見つけてくる意欲を持ってもらいたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・毎年きちんと公表されている。	・公表場所を知らない保護者の方もいらっしまった。『ごぼん本部のHP』に載っていることを知らせていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・子どもには、課題中落ち着いて話をしたり、送迎時に雑談しながら話をしたりして、聞き取りを行っています。客観的に評価し問題点を浮き彫りにしています。 ・面談予約表では、保護者の方が気になっていること、相談したいことなどを記入する項目欄を作っている。 ・カンファレンスの場を設けて、アセスメントを職員全体で行っている。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下でこどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・日頃から一人ひとりの子どもについて気になること(悪いことばかりではなく良いことも)を職員間で伝え合っており、共通理解ができている。 ・利用者のいない時間を使って協議をしている。 ・児発管が共有してくれる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・日々の会話、昼礼、個別の課題ファイル、連絡帳の記録で常に確認できている。 ・新しい支援計画についての内容を昼礼時に説明している。 ・計画に応じた課題作りが行われている。	・課題ファイルに最新の支援計画書をファイリングするようにしているが、抜けていることがあった。児発管はもちろん、他の職員も起算日等を確認するようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・本人の支援はもちろん、家族や兄妹支援、就学就労に向けて、関係機関と連携を取りながら支援内容を設定している。 ・5領域を踏まえた支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・話し合い、報告会、反省会を行い活動内容を工夫している。 ・職員全体で話し合い、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・年度末に年間プログラムを反省し、改変している。 ・同じ内容の事で、子どもに興味・関心をもってもらえるようにアレンジを加えている。	・運動系の活動では、子どもたちの学年が上がり、かなり狭そう。動き回ったり飛んだりする活動では、1階の店舗に迷惑をかけているかもしれない。(苦情を言われたことはない)
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別課題では見られない姿が集団活動を通して知る機会が多く、大切さを感じている。 ・子どもの姿に合った活動を取り入れている。	・課題担当者が当日の記録を残すのだが、集団活動は違う子を見ないといけないこともある、その際は記録に残らないことがあるのが気になっていたが、同じように考えていた職員同士で、様子を伝えあう姿がみられている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・昼礼時に必ず時間を取って打ち合わせと確認をしている。 ・声をかけ合ってフォローもし合えるのでとても良い。 ・1日2回の集まる場があり、情報伝達のミスを減らしたり、今日の児童への対応について意思疎通を図っている。	・1日2回の集まりで情報共有は、できるようになってきたが、送迎等で忙しい夕方起こった出来事を日報に書ききれないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・日頃から職員間で支援の振り返りや次回の担当者へのひきつぎなど自然に行われている。 ・その日の反省や起こった出来事について振り返り、次回の支援について話し合っている。 ・終了後、個々での話の中での対話があるが、終了後に改めて振り返りをする場はない(開始前には話し合いをしている)	・情報共有をしていることにより、保護者からの相談に誰でも適切に答えることができていると思っている。継続したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日々の記録も必ず取っているし、昼礼で時間を取って話すこともあり、多くの情報を得ることができる。 ・支援の幅が広がりとてもいいと感じている。 ・その日の様子や課題への取り組み、活動の様子について記録し、ファイルに保存している。 ・担当も固定しないことにより、いろいろな視点からの記録がとれ、さまざまな検証ができる。	・課題内容だけでなく、その日話したことや友達との関わり方を見て、記録している。久しく担当にならないこの情報は、自ら確認しないとわからないので、時間がある時に個人ファイルを見るようにしていきたい。
適切な支援の提供	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・相談支援の方とも連携し、今後の支援について考えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	7		・工作、自立支援、運動や遊びを行っている。 ・公園遊びや買い物などで地域とも関わっている。	①日常生活の充実・自立支援 ②創作活動 ③地域交流の機会提供 ④余暇の提供を取り入れながら支援を行うようにしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・「○○しましょう」と声掛けをして職員が決定していくのではなく、選択肢を複数用意し、自分で決めて行動できるように促している。 ・選択できるような冊子(おもちゃ)を用意されている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・ケース会議を開き、児発管が参加をしている。	・児発管、管理者のみだけでなく、普段の子どもの様子を熟知している職員が参画するようにしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・学校や園との連携がされている。 ・医療機関との連携も必要と感じており、医療機関からも連携するべく良い返事をもらっている。	・今年度は、園からの参観希望や支援方法の相談が多かった。どのような体制での参観にすれば、子どもたちの日頃の様子を直に見ていただけるか、考えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・利用予定表に保護者が書いてくれている。 ・送迎時に学校の先生方と話す時間があり、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・就学前の様子については、以前利用していた事業所を通して確認している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・今までに、障害福祉サービスへ移行した子は一人だが、その時は情報共有をしている。今後多くの以降者が出ることを見込んで、情報提供、情報共有について様々な事業所と連携を取っていききたいと思う。	・保護者の方からの要望がない場合もあるが、事業所から積極的に情報提供をしている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	・年に複数回、助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・他の事業所との交流はないが、卒業生との交流はある。卒業生が、ボランティアに来てくれたり遊びに来てくれている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・管理者や児発管が積極的に参加している。	・今は、管理者が参加しているが、協議会と研修（グループワーク）が同時に行われる会などへは、他の支援員も参加するべきだと思っている。様々な福祉サービス事業所との交流する機会を作っていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時に保護者と子どもの状況を伝え合っている。 ・今、気になることをすぐSSTなどで取り入れることもでき、「すぐ対応して下さってありがとうございます」と声をかけてもらったことがあった。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・面談時に保護者だけでなく、本人にも内容について伝えている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・送迎時、面談時に説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・送迎時、連絡帳での相談にすぐ答えられる時は答え、職員間で話してから助言することもある。 ・『聞いてもらえるだけで安心します』という声もいただいたことがある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・茶話会を開いて交流する機会を設けている。	・茶話会は行っている。ただ参加者が少ないため、増やすための工夫が必要だと思うので、次年度は改善していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情については、隠さず誠実に対応しよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・定期的に手紙を出している。	

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・名前等の個人情報が載っているものについては、シュレッダーにかけて処分している。 ・棚に鍵をかけている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・話が長くなり過ぎないように要点を端的に伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・地域の方々と交流を持てるような行事を行っていないが、日々の挨拶や会話の中で事業所や子どもたちの様子をお知らせしている。氣にかけて、声をかけてくださる地域住民の方もいらっしゃる。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・火事、地震の避難訓練は年に1回ずつ集団活動で取り組んでいる。その都度、反省点を次につなげている。 ・日々の消毒も徹底している。 ・嘔吐した時の対応もマニュアル等策定しているが、実際に嘔吐した際やってみるが、できない。誰がその場にいてもすぐに対応(対処)できるように確認したい。	・マニュアルがあっても、実際に事が起こった時は、瞬時に行動しないといけないため、対処する職員が決まってくる。訓練をしながら実際に経験していくようにしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年に2回、避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・個別ファイルに記載している。	・表にまとめて、すぐ見えるところに保管しておく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・アレルギー表を作り、一覧表をおやつ場所に貼っている。 ・クッキングの活動時には、アレルギーのある子は必ず保護者にも成分確認をしてもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・月ごとに点検箇所を設定しチェックをしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・職員全員にも伝え、(昼礼等)ヒヤリハットのファイル(用紙)に記録していつでも共有できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・他害が見られる利用児については、やむを得ない時のみ、身体拘束を行う旨を伝えている。	